

萩市立川上中学校で「森林体験学習」を実施

令和4年11月22日（火）と11月25日（金）、萩市立川上中学校2・3年生6名を対象に、地元林業研究グループ「川上スギの木会」が森林体験学習を行いました。

この活動は、次代の担い手である小中学生を対象に、森林の働きや林業の必要性などについて、体験を通して理解を深めてもらうために行われたものです。

11月22日（火）は、阿武萩森林組合川上支所で、会員が森林の働きや川上地域の林業について説明しました。生徒たちは、間伐や枝打ち作業の目的や手順の説明を聞き、「間伐で伐った木は、どのように利用されるのか」など質問し、次回の実習への理解が深めました。

11月25日（金）は、萩市川上の森林で間伐や枝打ちを実習しました。会員に指導を受けながら木に登って枝打ちをし、生徒同士で協力して間伐を行いました。作業前よりも日が差すようになった森林を見て、森林整備の大切さを実感したようです。

今回の森林体験学習を通じて、森林・林業に興味を持ってもらえることを期待しています。



森林の話



枝打ち体験